



# 車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【平成29年3月号②】

春の気配が感じられる季節になりました。

## 《重点目標》『夢の実現に向けて、主体的に行動できる生徒』

毎年12月に実施した「学校評価に関するアンケート（保護者アンケート）」に保護者の皆さまにご協力をいただきありがとうございました。前回に続き、徳育面の途中からと体育面の結果をお知らせいたします。この結果を次年度の学校運営の計画に生かし、今後も課題の解消に向けて努力していききたいと思います。

<評価は4段階評価>

○グラフの左からA:あてはまる、B:ややあてはまる、C:あまりあてはまらない、D:あてはまらない、E:わかりません

○数値はA=4、B=3、C=2、D=1として平均値を算出したもの

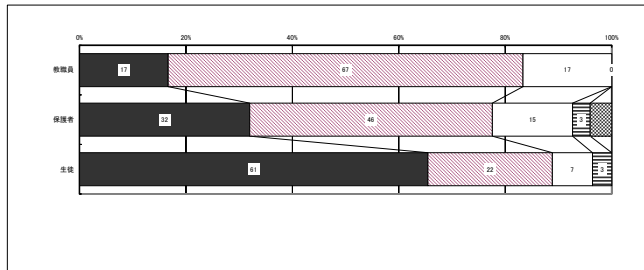
○グラフは上から教員、保護者、生徒の順です。

### 【徳育面】

～前号の続きです～

#### (3) 生徒理解に努め、個性の伸長を測りながら、自己実現の達成を支援します。

生徒理解に努めながら生徒一人ひとりの自己実現が叶うように支援することは教員の責務です。教育相談や三者面談のように、生徒や保護者と時間を取って話し合う機会を設けたり、普段から悩みがあれば相談できるよう門戸は開放しています。今年度も生徒本人や、保護者からの相談により早期解決できたものもあります。中学生は多感な時期でもあり、学習や部活動、人間関係、進路のことなどさまざまなことに悩みや不安を抱えていると思われるので、相談しやすい雰囲気作りや言葉かけは常に意識していきます。

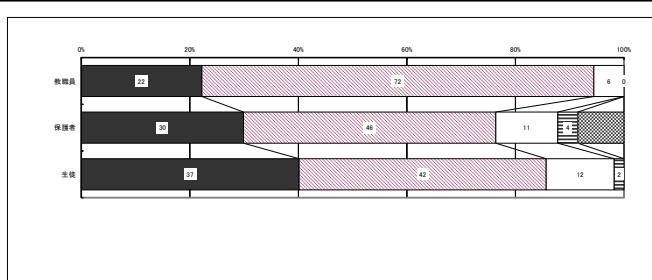


#### <改善策>

担任、他の教員、養護教諭、スクールカウンセラー等相談しやすい雰囲気作りや言葉かけは常に意識していきたい。

#### (4) いじめや暴力行為などの問題行動の未然防止と早期発見、早期解決に努めます。

尊い命が失われることがあってはなりません。本校では定期的にアンケートを実施したり、教育相談などを通して早期発見・早期解決に努めています。学校としてもいじめは絶対許しません。また、生徒たちに対してもいじめをしない、見逃さない指導を徹底してきています。評価はおおむね良好な結果となっていますが、今後も生徒の変化を見逃さず、常にアンテナを高くして早期対応に努めたり、道徳の時間を充実させて心を育て、積極的な生徒指導を進めていきたいです。

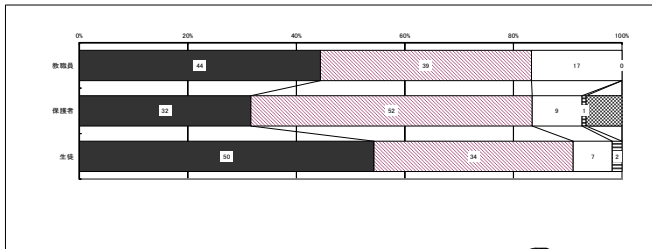


#### <改善策>

今後も生徒の変化を見逃さず、常にアンテナを高くして早期対応に努めていく。また、道徳教育を充実させ、生徒の内面に訴える指導を行う。

#### (5) 豊かな集団生活の構築やよりよい人間関係の育成を目指し、不登校ゼロを目指します。

今年度、新たな不登校の生徒はいません。また、昨年度欠席が多かった生徒が改善した事例が複数あります。休みがちな生徒についても、学年の先生や養護教諭の働きかけによって、教室には行けなくても保健室登校をしています。休みがちな生徒には、人間関係づくりが苦手であったり、周りを気にし過ぎたりする傾向があります。クラスでも保健室登校の生徒にさまざまな働きかけをしながら、教室復帰を目指しているところでもあります。保護者や生徒の評価もおおむね良好であり、今後も互いを認め、受け入れる心を育てていきたい。



#### <改善策>

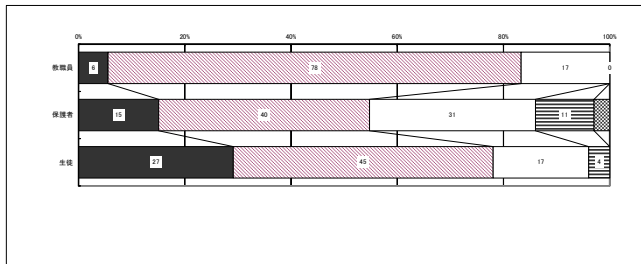
家庭と学校が連携して、生徒が楽しいと思う学校、保護者が安心して通学させられる学校をめざし、学級経営、学年・学校経営に努めていく。



## 【体育面】

### (1) 目標や夢の実現に向けて、最後までねばり強く実践する態度を養います。

生徒一人ひとりが自分の目標を持ち、見通しを持って根気強く実現に努力していく姿勢を育てることは、とても大切なことです。また、今年度は「目標に向かって、今この瞬間を努力しよう」をスローガンに教育活動に取り組んで来ました。しかし、教員や生徒の評価に比べて、保護者の半数近くが自分の子に対して「当てはまらない」「あまり当てはまらない」と評価しています。生徒たちの中には将来の夢を具体的に持っている生徒もいますが、まだ漠然としている生徒がほとんどです。きっかけをつくる指導や実現のためのプロセスを学ぶ機会を、授業の中に位置づけ、キャリア教育を充実していく必要があります。

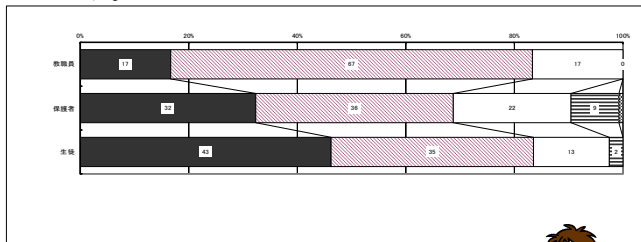


#### <改善策>

1年から3年までを見通した系統的な進路指導の充実が課題である。また、保護者の皆さまに進路に関する情報を発信し、家庭の中でも、話し合うきっかけをつくっていく。

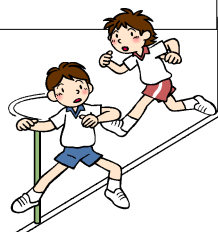
### (2) 体育の授業や部活動などを通して、積極的に運動に親しむよう習慣化を図ります。

震災後の屋外運動制限によって、運動能力が低下したり、肥満傾向の生徒が増えたりという面が見られましたが、震災から6年が過ぎようとしている中、だいぶ改善されてきました。体育の授業では、体づくり運動が計画的に実施されており、その成果もあって、新体力テストの結果も昨年度よりもかなり向上しました。運動部もそれぞれ目標を持って頑張っており、体力や技能の向上に繋がっています。部活動の指導に関して保護者の評価は、毎年賛否分かれるところであるが今年度はポイントが上がっています。保護者の中には、様々な要望がありますが、本校の運動部の種類が多く、すべての部活動に専門性の高い顧問をつけることは難しく、教師の人数の関係から副顧問をつけられない事情もありますので、ご理解いただければと思います。



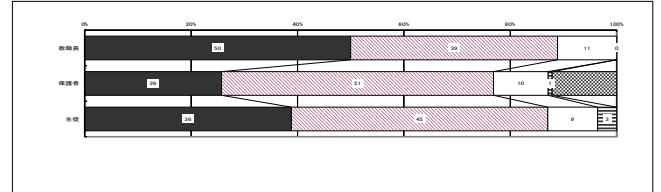
#### <改善策>

全ての部活動に専門性の高い顧問をつけることは難しいことを十分ご理解いただきたい。そのような中、出来る限り生徒と教員で取り組んでいきます。また、市のトップアスリート事業を活用し、意欲向上に繋がたい。



### (3) 性に関する指導、生活習慣病などへの対応を計画的に進め、心と体の健やかな成長を促します。

性に関する指導は、今年度も養護教諭を中核として、学級担任とのTT授業を各クラス2時間ずつ行いました。学年ごとに、発達段階を考慮して指導内容を精選していますので、事後の生徒のアンケートからも、指導の成果が感じられます。保護者や生徒の評価も年々向上し、生徒もその内容の充実を感じているとともに、保護者の皆さんにも浸透してきたのではないかと思います。性の授業には、若い養護教諭を目指す学生や大学の先生も参観に来るなど本校の特色ある教育のひとつです。



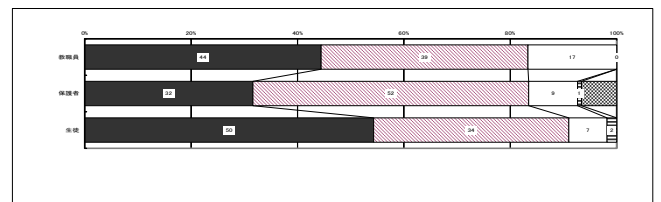
#### <改善策>

今後も継続して取り組んで行くと共に、教師一人ひとりの指導力を高めて行くことが必要である。

また、他校にはない取り組みであり今後とも真剣に授業を受け、生活の中に生かすよう取り組む。

### (4) 防犯・防災教育、放射線教育など、生徒への安全指導や危機管理対策を適切に実施します。

今年度も交通・防犯教室、避難訓練、放射線教育を実践し、警察署や消防署、放射線を研究する医師や除染プラザなどの関係機関の協力を得ながら、生徒たちの安全指導と事故回避能力の育成に努めてきました。保護者や生徒の評価もおおむね良好です。特に生徒は時間や想定を予告せず、突然休み時間に放送の指示だけで一次避難、二次避難まで行った避難訓練に真剣に取り組む自己評価も高かったです。

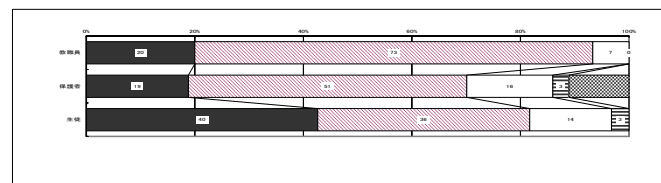


#### <改善策>

交通教室や避難訓練の内容については、今後も吟味・検討しながら、指導の質を高めていく。

### (5) 道徳や学級活動、総合的な学習の時間などを通して、自己の生き方を考えさせます。

キャリア教育支援授業で、1年生はコミュニケーション、2年生は挨拶と言葉遣い、3年生は実際の職業人の話を聞くという授業を行い、内容も充実したものとなった。また、2年生は職場体験、3年生は介護教室と体験活動も充実していた。



#### <改善策>

今後は普段の学習の中で自分の生き方を考え、今できること主体的に学んでいく態度を養っていきたい。